

ほうれんそう版

農林水産省登録
第19184号

BASF
We create chemistry

次世代防除もやっぱりコテツ!

ほうれんそうケナガコナダニに 優れた効果!



被害株



ほうれんそうケナガコナダニ

■適用害虫と使用方法(抜粋)

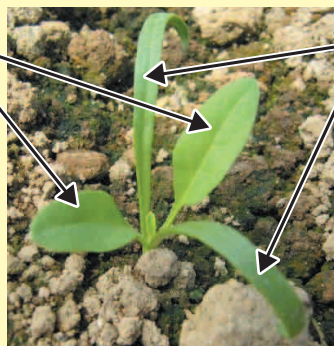
作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	ほうれんそうケナガコナダニ	4000~6000倍	100~300ℓ/10a	2葉期まで 但し 収穫14日前まで	1回	散布	1回

詳しくは製品ラベルをご確認ください。

使用時期: 2葉期まで 但し 収穫14日前まで

散布数日後に下記のような薬害が発生しますが、その後展開する葉には薬害症状はでません。また、今までの知見では作物が枯れるようなことはありませんでした。

本葉2枚展開
(2葉期)



子葉

2葉期のほうれんそう

必ず使用時期を守ってください。

薬害症状

4000倍 処理



子葉に発生した薬害



本葉に発生した薬害

【使用上の注意事項】

- ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。
- ほうれんそうに使用する場合、展着剤および他の殺菌、殺虫剤、液肥等との混用はさけてください。

難防除害虫に効く

コテツ[®]フロアブル

®=BASF社の登録商標

有効成分：クロルフェナピル…10.0%

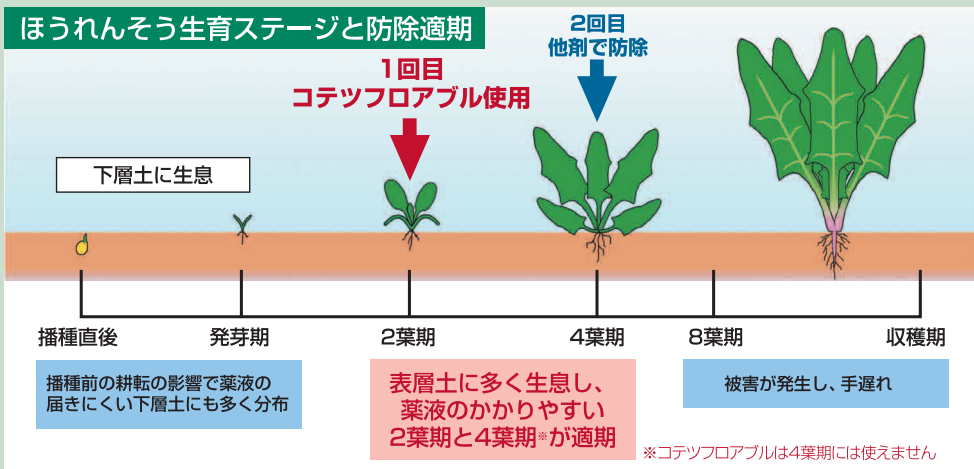
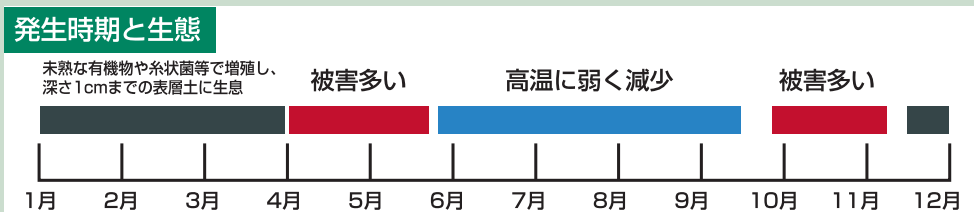
毒性：医薬用外劇物

■ 処理後の生育状況



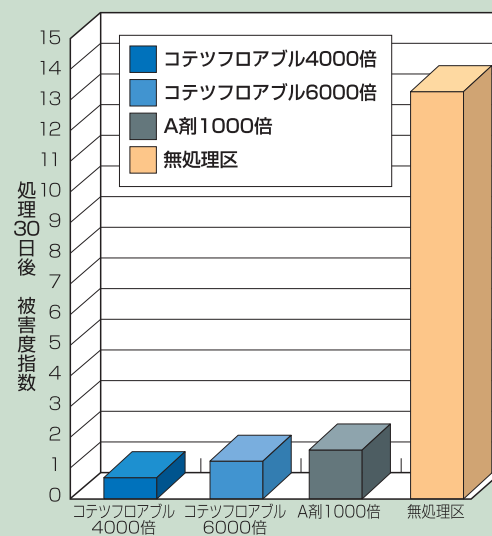
処理後に展開した葉には薬害症状はできません。

■ ホウレンソウケナガコナダニの発生生態と防除適期



■ 試験成績

(ほうれんそう／ホウレンソウケナガコナダニ)



試験機関：東京都農林総合研究センター
 品種：強力オーライ
 区制：4.5㎡/区 (1.5×3) 3連制
 処理日：2008年11月26日 (1.5-2.0葉期)
 散布液量：200ℓ/10a、発生状況：少発生
 方法：処理前と処理30日後に各区20株の被害度を調査。

△ 効果・薬害等の注意

- 使用の際は容器をよく振って、均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- 希釈の際は十分に攪拌し、均一に分散するよう調整してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調整してください。
- 植物体への浸透移行性がないので、かけ残のないように葉の表裏に十分に散布してください。
- **ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。**
- 使用方法等を厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 周辺の作物(特にメロン・しそ)にかかると薬害を生じる場合があるので、薬液がかからないよう十分に注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、桑葉にかからないようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

△ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物です。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 散布等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 密栓し、直射日光をさけ食品と区別して涼冷な場所に、カギをかけて保管してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。



水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

★ 使用前にはラベルをよく読んでください。 ★ ラベルの記載以外には使用しないでください。 ★ 小児の手の届くところには置かないでください。
 ★ 使用後の空容器等は園場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ★ 防除日誌を記載しましょう。

※この資料は2015年10月現在の知見に基づき作成したものです。

BASF ジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階
 ☎ 0120-014-660 FAX 03-3796-9419 http://www.agriculture.japan.basf.com